

11月号

運動会を終えて

校長 桐ヶ谷 淳子

学校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

10月15日(土)はコロナ禍で初めて予定通りに運動会を実施することができました。前日夕方まで雨は断続的に降り続き、グランドコンディションや翌朝の準備等、いろいろ心配しました。でも当日は、熱中症をそれほど心配しなくてもすむ絶好の運動会日和でした。今年の運動会は大成功だったと思っています。

競技数を絞り、団体競技の内容も感染予防の観点から学年ブロックごとに工夫を凝らしました。先月号でもお知らせしましたが、特に表現演技で、練習を重ねるたびに上達していく子どもの姿からは、元気と勇気もらった気がします。同時に、準備や当日の運営等、力を合わせてきびきびと動く先生方を見ていて、この運動会は草柳小学校みんなで作り上げたものだと感じました。放課後寺子屋やまとコーディネーターの先生にも、当日までたくさんお手伝いいただきました。また、参観者の人数制限など、保護者の皆さまにも、ご理解とご協力をお願いしました。運動会が無事に終わった今、心は感謝の気持ちでいっぱいです。

コロナの感染は世界中を席捲しました。世の中は大きく変わり、今だ感染収束の見通しも立っていません。でも「みんなで知恵を絞り、より良いものをめざして心を合わせていく」そんな姿勢こそが大切なのだと実感しています。

11月にはオータムフェスティバルがあります。子どもたちがこの行事を通して、また一回り大きく成長することを心から願っています。

2学期も半ばが過ぎ、黄色い帽子の1年生も、入学当初に比べて、だいぶお兄さん・お姉さんの顔つきになってきたように思います。朝登校してくる子どもたちに、正門で声を掛けるようにしていますが、最近あいさつの声が小さいのが気になっています。

「挨拶」には「人と人との間柄・つきあい・まじわり」という意味があります。あいさつを交わすことで、円滑な人間関係が築かれ、お互いを思いやる心も醸成されます。私は、あいさつの中でも特に「いただきますーめしあがれ」

「ごちそうさまでしたーおそまつさまでした」に料理を作る側と食べる側の、互いへの感謝や思いやりの気持ちが強く表れていて、とても良い言葉だと思っています。

これからも子どもたちには「あいさつをしようね。」と声を掛けていきますが、ぜひご家庭でも、朝起きた時、食事の時、寝る前のあいさつなどを心がけていただきますようお願いいたします。

運動会の2週間前、10月2日は地区運動会の日でしたが、今年も実施が見合されたとのことでした。この日、体育振興会および本校PTAの皆さまがグランドの除草作業をしてくださいました。暑さが残る中、大勢の方が午前中2時間以上にわたり、草むしりをしてくださいました。

おかげで無事に運動会を終えることができました。あらためてお礼申し上げます。

「ありがとうございました」